

ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

◆知財ミックスと知財権ミックスのカバーできる範囲とそのギャップを考える◆

【パネリスト】

- 1) 杉光一成 【K.I.T虎ノ門大学院イノベーションマネジメント研究科 教授】
- 2) 鈴木公明 【東京理科大学大学院イノベーション研究科 教授】
- 3) 上野徹 【株式会社リコー 知財本部 知財開発センター
第二知財開発室 知財 22G グループリーダー】
- 4) 遠山勉 【株式会社知財ソリューション代表取締役、弁理士】
- 5) 押久保政彦 【押久保政彦国際商標特許事務所、弁理士】

【内容】

“知財ミックス”は、事業活動等において、多種多様な知財を競争優位の源泉たる経営資源として位置づけ、それらの知財を活用することで、相対的な競争優位性を獲得しつつ、事業活動を成功に導く戦略的手法の1つとして、近年、“知財ミックス”の必要性や重要性が叫ばれています。

しかしながら、“知財ミックス”については、明確な定義や考え方は整理されていない状況です。いわゆる“知財ミックス”には、財産的価値を有する知財群を指す場面（知財ミックス）と、その財産的価値を有する知財群を法的に保護する知財権群を指す場面（知財権ミックス）とがありますが、両者は、それぞれの目的や範囲が異なるものです。そのため、事業活動においては、知財権ミックスは、知財ミックスをカバーしきれないという問題が生じます。

上記問題意識に鑑み、知財ミックス（財産的価値を有する知財群）と知財権ミックス（法的保護のための知財権群）のあり方、その目的や範囲、両者のギャップについて検討すべきと考えています。

そこで、本分科会では、“知財ミックス”に内在する問題、具体的には知財ミックスと知財権ミックスのギャップに関して、事業活動上どのように対処していくべきか、について、パネリストや会場参加者とのディスカッションを通じて、深く議論していきます。

第14回年次学術研究発表会の統一テーマは、“知的財産法制改正による産業界への影響と今後の課題～新たな知的創造システムの構築に向けて～”とあります。本分科会の“知財ミックス”に関する議論が新たな知的創造システム構築の一助になれば幸いです。

以上

ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

◆知財ミックスと知財権ミックスのカバーできる範囲とそのギャップを考える◆

【略歴】

1) 杉光一成【K.I.T虎ノ門大学院イノベーションマネジメント研究科 教授】

東京大学大学院・修士（法学）、東北大学大学院・博士（工学）。株式会社東芝・知的財産部等を経て、金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授、現在に至る。公職歴として参議院・経済産業委員会調査室・客員研究員、総務省「メタバース著作権委員会」委員、政府知的財産本部・知財人材育成検討プランWG委員、東京大学政策ビジョン研究センター・客員研究員（現任）等の他多数。2009年に経済産業省「知財功労賞」受賞。

2) 鈴木公明【東京理科大学大学院イノベーション研究科 教授】

平成2年東京大学卒業。キヤノン株式会社知的財産法務本部を経て、特許庁入庁、制度改正審議室、特許・実用新案審査、意匠審査、意匠制度企画室等を歴任。平成17年東京理科大学大学院MIP助教授、平成19年准教授、現在に至る。弁理士。知的財産管理技能検定委員。

3) 上野徹【株式会社リコー 知財本部 知財開発センター

第二知財開発室 知財22G グループリーダー】

平成3年近畿大学理工学部数学物理学科卒業。同年三田工業株式会社（現京セラドキュメントソリューションズ）入社。株式会社キーエンスを経て、平成13年株式会社リコー入社、現在に至る。この間、一貫して知財業務に携わる。平成17年日本知的財産協会 知財マネジメント委員会、平成25年同協会意匠委員会委員となり、現在同委員会の委員長。

4) 遠山勉【株式会社知財ソリューション代表取締役、弁理士】

中央大学法学部法律学科卒。東京理科大学工学部第2部電気工学科卒。自動車部品メーカー、特許事務所を経て佐藤・遠山特許事務所を設立、秀英国際特許事務所と改名後、合併で秀和特許事務所共同設立。株式会社知財ソリューション設立、現在に至る。秀和特許事務所相談役。成蹊大学法学部非常勤講師。弁理士・特定侵害訴訟代理登録。

5) 押久保政彦【押久保政彦国際商標特許事務所、弁理士】

東京理科大学大学院総合科学技術経営研究科知的財産戦略専攻終了（知的財産修士）。同イノベーション専攻（博士後期課程）単位取得満期退学。博士（技術経営）。携帯電話販売会社、特許事務所勤務を経て押久保政彦国際商標特許事務所を設立、現在に至る。弁理士。1級知的財産管理技能士（特許専門業務／コンテンツ専門業務／ブランド専門業務）。

以上